

# 第2次岡山県肝炎対策計画の概要

## ○計画の目的

「肝炎患者等が早期に診断され、安心して適切な肝炎医療を受けられる社会の構築」

## ○基本的な考え方と方向

### 基本的な考え方

- ・肝炎を放置すると肝硬変や肝がんといった重篤な病態へ進行するおそれ  
⇒ 肝炎患者等の健康管理に関わる全ての者が肝炎に対する理解を深め、肝炎患者等が安心して生活できる環境づくりに取り組むことが必要。
- ・県民の視点に立ち、県民の理解と協力を得て、関係者が連携して対策を進めることが重要。

### 基本的な方向

肝炎ウイルス検査  
の更なる促進

適切な肝炎医療  
の推進

肝炎に関する正しい知識の更なる普及  
及啓発

肝炎患者等及びその  
家族等への相談  
支援や情報提供の  
充実

## ○岡山県の現状と課題

### 現状

- ・肝がんによる死亡者数 年間約500人
- ・肝がんによる死亡率 全国と比べ高い水準

### 課題

- ・肝炎ウイルスに感染 ⇒ 自覚のない人が多数存在
- ・ウイルス陽性者 ⇒ 適切な医療等を受けていない人の存在
- ・相談体制の更なる充実
- ・偏見の解消

## ○全体目標

平成33年までに、肝がんによる死亡者数を平成27年の490人から15%以上減じ、416人以下とする。

上記全体目標を達成するため、6つの施策に取り組む。

## ○肝炎対策の施策等

### 1 肝炎の予防

肝炎ウイルスの感染の予防を図るため、県民に肝炎についての正しい知識を普及する活動を促進する。

### 2 検査体制の充実

肝炎ウイルス検査を県民が一生に一度は受けるよう勧奨するとともに、肝炎ウイルス陽性者の医療機関受診勧奨を推進する。

### 3 医療提供体制の確保

拠点病院、専門医療機関、かかりつけ医等と連携して肝炎に関する正しい情報の提供、地域医療の充実等を図るための体制づくりを進める。

### 4 早期対応の中心的役割を果たす人材の養成

肝炎ウイルスへの感染予防や、適切な医療に結びつけるため地域、職域、医療現場等における人材を育成する。

### 5 普及啓発・人権尊重

県民の肝炎に関する正しい理解と適切な対応を促進するため、様々な普及啓発活動を行うとともに、肝炎患者が不当な偏見や差別を受けることがないように普及啓発活動や相談体制の充実を図る。

### 6 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

肝炎患者等やその家族等への支援体制の充実を図る。